



北海道発信の現場ニュース
中央情勢もタイムリーに

情報提供等や
購読申し込みは
TEL 011(221)7777
FAX 011(281)2678
Eメール kaigo@medim.co.jp

ホームページ <http://www.medim.co.jp>

札幌市・認定NPO法人シーズネット

奥田理事長インタビュー

「これからのシニア世代が花開く、その種(シーズネット)になりたい」という思いを込め、2001年に故岩見太市氏が設立したNPO法人シーズネット。高齢者の「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」を理念に掲げ、約30のサークル活動・常設サロン運営、さらに道や札幌市からの委託事業を含めた高齢者支援に取り組み20年がたった。故岩見氏からバトンを受け13年から理事長を務める、奥田龍人氏にこれまでの取り組みと今後の展望を聞いた。

▼現在の会の状況について
会員数278人からスタートし、21年10月末現在684人。最盛期には1000人近くに増えたこともある。設立当初は札幌市以外に、旭川、函館、北見、空知、釧路各支部があった。

中心となつて運営していましたが、今の60代は現役で働いている人も多く、サークル活動に関わるのは70代以降が増え

てきた。仲間づくりのサークルで、企業のような命令に企画を提案し、実現

支え合いプラスし中間支援組織「港」役割も

活動数は新設、廃止を繰り返しながら30年前の原点となった常設サロン「このはな」は04年に札幌市豊平区で開設以来、いつも誰かいて交流できる地域の居場所として17年間継続してきた。

サークル・サロン活動は新型コロナによる影響を大きく受け、中止を機に廃止や退会が相次ぎ、平日の毎日開設していた「このはな」も中止を余儀なくされた。最近、オンラインによる「WEBでサロン」「脳活塾」によって交流が再開しつつあり、これからは高齢者

ル活動数は新設、廃止を繰り返しながら30年前の原点となった常設サロン「このはな」は04年に札幌市豊平区で開設以来、いつも誰かいて交流できる地域の居場所として17年間継続してきた。

サークル・サロン活動は新型コロナによる影響を大きく受け、中止を機に廃止や退会が相次ぎ、平日の毎日開設していた「このはな」も中止を余儀なくされた。最近、オンラインによる「WEBでサロン」「脳活塾」によって交流が再開しつつあり、これからは高齢者

ル活動数は新設、廃止を繰り返しながら30年前の原点となった常設サロン「このはな」は04年に札幌市豊平区で開設以来、いつも誰かいて交流できる地域の居場所として17年間継続してきた。

サークル・サロン活動は新型コロナによる影響を大きく受け、中止を機に廃止や退会が相次ぎ、平日の毎日開設していた「このはな」も中止を余儀なくされた。最近、オンラインによる「WEBでサロン」「脳活塾」によって交流が再開しつつあり、これからは高齢者

ル活動数は新設、廃止を繰り返しながら30年前の原点となった常設サロン「このはな」は04年に札幌市豊平区で開設以来、いつも誰かいて交流できる地域の居場所として17年間継続してきた。

サークル・サロン活動は新型コロナによる影響を大きく受け、中止を機に廃止や退会が相次ぎ、平日の毎日開設していた「このはな」も中止を余儀なくされた。最近、オンラインによる「WEBでサロン」「脳活塾」によって交流が再開しつつあり、これからは高齢者

ル活動数は新設、廃止を繰り返しながら30年前の原点となった常設サロン「このはな」は04年に札幌市豊平区で開設以来、いつも誰かいて交流できる地域の居場所として17年間継続してきた。



たが、現在は旭川と函館だけとなった。20年

「自分たちでつくれた組織だから自分たち

トワークモデル事業を

仲間・居場所づくり

「あんしん住まいサ

何とかしよう」とい

札幌市オンライン



011(251)0707